

シンガポールでの石川フェアの開催とタイ AEC 促進部会への参加

1. ローカルメディアと連携した石川フェアの開催

12月6日から年末まで、シンガポールにある高級日本食レストラン「Takayama Japanese Restaurant」にて石川県産食材を使用した期間限定メニューが提供されています。初日となる6日夜は食関連のローカルメディアを招待したメディアテイキングを行い、その様子を各メディアのデジタル媒体にて情報発信しました。

招待した有カメディアには加能蟹を目の前で備長炭で焼いたり、香箱蟹に熱燗を入れて飲ませたり、五郎島金時のペーストを使用したモンブランを提供しました。シンガポールで人気店になるには、料理の味はもちろん大切ですが、提供方法や盛り付け方、食べ方の提案など、パフォーマンス的な要素も非常に重要です。イベント終了時にはメディアの方々から「素晴らしい食材が揃っている石川県に本物を食べに行く！ファンタスティック石川！」と感謝のコメントが多数寄せられました。

そんなイベントの中、最も嬉しかったのが最近金沢に旅行してきたばかりのメディアの方がいて、興奮気味に他の方々に対して金沢の説明をしてくれました。少し自慢も入っていたと思います（笑）石川県庁職員の私が「石川県って素晴らしいところです！」と説明するよりも、当地にいる第三者が石川の魅力を説明した方が断然説得力があります。こうしたイベントにおいて私は詳細な情報を補足・訂正する役割に徹し、石川を気に入ってくれる方々にフォーカスしてPRを実施しています。こうした方々の口コミも当地では大きな武器だと考えています。

イベント自体は参加したメディアの協力もあり、イベントの様子が広く拡散され、それ以降たくさん予約が入ったようです。フェア期間中はとても忙しかったと料理長から嬉しいコメントもいただきました。シンガポールではインスタやフェイスブックでの情報発信力はテレビを遥かに凌駕しています。デジタルマーケティングの費用対効果も検証しつつ、石川県の認知度を上げるため、石川のファンになってくれるメディアのバックアップを得て今後とも取り組んでいきたいと考えています。



写真を撮り、SNS にアップするメディアの方々

2. シンガポール伊勢丹のクリスマスフェアに参加

12月13日から約一週間開催されたクリスマスフェアに石川県ブースを出展しました。出展商品はシンガポール石川県アンテナショップで販売する商品の中から、クリスマス商戦にマッチする商品や伊勢丹で動きの強い水産加工食品を販売しました。

このイベントへの集客を強化するため、当地で活動するマイクロインフルエンサーの力を借りて商品等の情報発信も行いました。インスタ映えする商品情報を拡散させ、集客したお客様に対して他の商品の売り込みも実施しました。インフルエンサーの方々の投稿には数千を超える「いいね」があり、少なからず反響はあったものと考えています。効果検証のためのSNSキャンペーンも実施したので、イベント終了後には今回の実績をもとに、より効果的な広告ができるよう検証していきたいと考えています。

ローカルの客層にどうやってリーチするか、どのように石川県をブランディングしていくのか、マーケティングが終わった商材をどこの販路にのせるか、今後の物流をどうやって組み立てていくべきかなど、毎日アンテナショップ関係者間で相談しながら最善の策を考え進めています。こうした地道な取り組みにより、様々な場所で常設棚を獲得する事もできました。シンガポールでまず成功させて、周辺国に成功のビジネスモデルを展開させていきたいと考えております。主人公は私ではなく、石川県の事業者の皆様方です。引き続き、ご支援いただけましたら幸いです。



マイクロインフルエンサーの女性(アンテナ&伊勢丹催事 PR)



伊勢丹での催事の様子

3. 石川県鉄工機電協会タイ AEC ビジネス促進部会への参加

12月13日に恒例となったタイ AEC ビジネス促進部会の定例会議がバンコク市内で開催されました。会議の中でこの時期話題となるボーナス支給額が話題となり、各々の状況を共有して自社の支給額の参考にしていました。タイでは周りの状況を見て判断する事案も少なくないため、ある意味身内のような間柄で実施される部会は、下手に隠すことなく“生”の情報がシェアされます。

今タイのものづくり産業は景気が良くありません。特に自動車や建設機械が好調とは言えない状況です。ですがこうした状況になると大手メーカーはコスト削減に取り組み、省力化に対するニーズが高まるようで、ロボット関連の仕事をしている方々は安定的な仕事量を確保できているようです。業種により好調・不調はありますが、今日も県内進出企業はタイでたくましく生産を続けています。同部会では情報交換のフェーズから、更に一歩前に進んだ施策も検討しており、県事務所としても部会の活動の一助となれるよう取り組みたいと考えています。



メンバー企業のプレゼンの様子

今回の駐在員便りは以上となります。何かご不明な点等あればお気軽にご連絡ください。今年も県内企業者の方々には大変お世話になりました。新年も引き続き石川県シンガポール事務所をどうぞ宜しくお願い致します。